

プレスリリース
2016年8月10日

リオ 2016 パラリンピックにおける修理サービスに 日本から 2 名の技術者が参加します。

オットーボックはリオ大会の公式修理サービスプロバイダーとして、選手村、競技会場、トラックやコート脇において、参加選手への修理サービスを提供します。

100名の修理サービスチームのメンバーの一員として、日本からは2名の技術者が選ばれました。チームは31ヶ国から派遣される義肢装具士、車いす技術者、溶接技術者、およびサポートスタッフで構成され、選手が使用する機器のメンテナンスと修理サービスを実施します。

オットーボック・ヘルスケア社はパラリンピックのパートナー、公式のプロバイダーとして、1988年ソウル大会から、パラリンピック大会期間中に修理サービスを提供しており、今回は14回目の大会となります。近年、競技レベルが高度化し、機器への要求が高まると共に、オットーボックが提供する修理サービスへの要求も高くなっています。

過去の実績とリオでの取り組み

	ソウル 1988	ロンドン 2012	リオ 2016
参加選手数	3057名	4302名	4350名
実施競技数	16競技	20競技	22競技
修理サービスチーム員	4名	80名	100名
使用言語数	3言語	15言語	26言語
修理作業時間	90時間	10,000時間	14,500時間(予測)
修理数	350件	2062件	2000件(予測)
ドイツから搬送されるスペアパーツ数		15,000個	15,000個
ドイツから搬送される修理用機器類		9トン	18トン
パラリンピック村内の修理サービスセンターの広さ		600平米	650平米
競技会場での修理サービスブース		9競技会場	14競技会場

トラックやコート脇で実施されるオットーボックの修理サービスは、モータースポーツのピットレーンのように途切れることがなく、パラリンピアンが直ぐに競技に戻れるように迅速に行われ、23競技、4,350名の選手全てに提供されます。

選手村の修理サービスセンターと競技会場の修理ブースには修理に必要なすべての機器とパーツが整備され、どのような要望にも対応できるようになっています。走行用の板バネ、車いすラグビーやバスケット、レース用車いす、投てき台ばかりでなく、選手に合わせてカスタマイズされた製品や日常生活で使用している義肢や車いすの修理も含まれています。車いすのタイヤのパンク修理から、複雑な機構の義足の修理や適合まで、様々な対応が求められ、専門的な知識や創造性が必要になります。

オットーボック・ジャパン代表取締役社長の渡邊は「広島国際大学の月城先生と弊社の高橋がリオの修理サービスチームの一員に選ばれたことを大変嬉しく思います。オットーボックはパラリンピック競技大会のパートナーとして、1988年のソウル大会から修理サービスを提供しており、長年の経験に裏付けされた高い技術力、専門知識がありますので、選手の方には安心してサービスを受けていただけたと考えています。」と語っています。

リオ大会でのオットーボックの修理サービスチームには、アメリカ合衆国、アルゼンチン、イギリス、ウクライナ、オーストラリア、オランダ、カナダ、韓国、コロンビア、サウジアラビア、スイス、スウェーデン、中国、トルコ、日本、ブラジル、ベルギー、南アフリカ、メキシコ、レバノン、ロシアの技術者が参加します。

写真脚注: オットーボック・ヘルスケア社は、既に車いすラグビー選手権、2016年リオ大会のテストイベント(2016年2月開催)において修理と溶接のサービスを提供しました。



写真提供: Getty Images (Buda Mendes)

オットーボックとは

- オットーボックは障がいのある方がモビリティを取り戻したり、維持したりできるよう、最新技術とリハビリテーションを組み合わせたモビリティソリューションを提供する義肢、装具、車いす等のリーディングサプライヤーです。1919年にドイツで創業し、現在ではグローバルネットワークを通して、製品、技術、サービスを全世界に供給しています。オットーボックのスポーツラインナップには走行用板バネ、スポーツ用膝継手、ラグビーやバスケットボール用車いすなどがあり、障害のある人々が陸上競技や球技を楽しむことを可能にしています。

- オットーボックはリオ 2016 パラリンピックの義肢、装具、車いすの公式修理サービスプロバイダーです。30 年以上前から障がいのある人々がスポーツやレクリエーションを楽しむことをサポートし続けており、1988 年ソウル大会からはパラリンピック大会で修理サービスを提供し、2005 年からはパラリンピックムーブメントのワールドワイドパートナーになっています。
www.ottobock.com/paralympics
- パラリンピックにおいては、過去に13回修理サービスを提供しており、パラリンピックの最も古くからのパートナーと言えます。私たちの技術者は、選手が最善を尽くし、世界の注目を集めるようなパフォーマンスができるようサポートするために、真摯に修理サービスを実施しています。

お問合せ先:

詳細に関しては下記までご連絡をお願い致します。

オットーボック・ジャパン(株) 佐竹、赤松、樋詰(ヒヅメ)

TEL: 03-3798-2113

E-Mail: ottobock@ottobock.co.jp

www.paralympics.ottobock.jp/

リオ2016パラリンピック競技大会メディアア krediyteeshyon を取得されたメディアの方で、パラリンピック選手村内にあるオットーボックのメイン修理サービスセンターへの取材を希望される方は下記までご連絡ください。

Anna Parisi

anna.parisi@ottobock.com

+44 7584 162563

または

オットーボック・ジャパン(株) 佐竹、赤松、樋詰(ヒヅメ)

TEL:03-3798-2113

E-Mail: ottobock@ottobock.co.jp